

平成 23 年 8 月 9 日

各 位

東京都目黒区青葉台三丁目 6 番 16 号

株式会社 B B H

(URL <http://www.bbank.co.jp>)

代表者名 代表取締役社長 大島 剛生

(コード番号：3719)

問合せ先 管理本部長 江口 航

電話番号：03-5456-3051

特別損失の計上及び

平成 23 年 12 月期第 2 四半期累計期間業績予想との差異に関するお知らせ

当社は平成23年12月期第2四半期において下記の特別損失を計上いたします。あわせて平成23年2月18日に公表の平成23年12月期第2四半期累計期間（平成23年1月1日～平成23年6月30日）の業績予想との差異について、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 特別損失の内容

連結決算及び個別決算

①投資有価証券評価損

当社の保有する未上場の事業会社1社の投資有価証券について、実質価額が著しく下落し、その回復があると認められないものについて、平成23年12月期第2四半期連結会計期間において、減損処理による評価損6百万円を特別損失として計上することとなりました。

2. 平成 23 年 12 月期第 2 四半期連結累計期間の連結業績予想との差異

(平成 23 年 1 月 1 日～平成 23 年 6 月 30 日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
前回発表予想 (A)	668	△23	△23	△24	2円72銭
今回実績値 (B)	777	△50	△53	△34	△3円79銭
増減額 (B-A)	108	△27	△30	△58	—
増減率 (%)	16.2	—	—	—	—
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成22年12月期第2四半期)	596	△24	△23	29	3円23銭

3. 平成 23 年 12 月期第 2 四半期累計期間の個別業績予想との差異

(平成 23 年 1 月 1 日～平成 23 年 6 月 30 日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
前回発表予想 (A)	52	△48	△45	6	0円69銭
今回実績値 (B)	57	△44	△42	△26	△2円94銭
増減額 (B-A)	5	3	3	△32	—
増減率 (%)	9.9	—	—	—	—

4. 平成 23 年 12 月期第 2 四半期連結累計期間の連結業績予想との差異理由

連結売上高については、子会社の営むコンサルティング事業において、受注している一部のプロジェクトが大型化したことにより、売上高が伸長いたしました。

連結営業損失及び連結経常利益については、上記案件の大型化により当社グループ外部のリソースによる対応が必要となったため、売上原価が増加したことに加え、新たに子会社を設立し開始した、情報システム及びITコンサルティング事業において、一定の人員・案件を確保し、安定運営へ向けた展開のための準備コストが必要とされたこと、更には、東日本大震災による経済環境への様々な影響により、プロジェクトの始期の遅延、引き合い案件の減少等が発生しており、利益の獲得の大きな抵抗となり、それぞれ 27 百万円と 30 百万円の赤字幅の拡大となりました。

連結四半期純利益については、連結経常損失の拡大の影響の他、当社が特別利益として想定しておりました清算会社からの残余財産の分配が一部に留まったこと、また、前述の投資有価証券評価損による特別損失の発生により、58 百万円の差異を生じることとなりました。

5. 平成 23 年 12 月期第 2 四半期累計期間の個別業績予想との差異理由

個別業績におきましては、売上高、営業利益、経常利益共に想定範囲で推移いたしましたが、連結業績予想との差異理由に記載のとおり、特別利益として想定しておりました清算会社からの残余財産の分配が一部に留まったこと、投資有価証券評価損による特別損失の発生により、32 百万円の差異を生じることとなりました。

6. 今後の見通しについて

当社グループでは今後の経済環境及び業界動向と当社グループの業績推移を慎重に分析・判断することとし、現時点においては平成 23 年 2 月 18 日に公表いたしました業績予想を修正しておりませんが、今後も継続的に各動向と当社グループ業績への影響を評価し、修正が必要となる場合には速やかに公表してまいります。

以 上